

電子顕微鏡トレーニング

クライオ試料作製・観察

凍結超薄切片作製法の基礎：徳安法とCEMOVIS

2016年（平成28年）10月19日(水)～10月21日(金)

目的：凍結超薄切片作製法は、最も難易度の高い試料作製技術であるが、大きな利点がある。

徳安清輝先生によって確立された**徳安法**においては、化学固定した試料を脱水・樹脂包埋を行わず凍結超薄切することにより、免疫染色を行う上で**抗原性の保持が良い**。

Al-Amoudi先生等によって命名された**CEMOVIS**では、凍結固定した試料を、そのまま凍結超薄切し観察することから、**生きた状態に近い構造/形態の観察が可能**となる。

本トレーニングは、こうした最難関・最先端の手法を学び、電子顕微鏡法の優れたポテンシャルを知る。



内容：徳安法の試料調製・切片回収・包埋、高圧凍結固定法、CEMOVIS、CryoTEM観察

講師：宮澤淳夫、西野有里（兵庫県立大学大学院生命理学研究科）
伊藤喜子、石原あゆみ（ライカマイクロシステムズ株式会社/兵庫県立大学客員教員）

場所：理化学研究所 放射光科学総合研究センター
RSC-兵庫県立大学リーディングプログラムセンター
兵庫県立大学 大学院生命理学研究科 SPring-8キャンパス
（〒679-5148 兵庫県佐用郡佐用町光都1-1-1）
JR山陽線/山陽新幹線・相生駅よりウエスト神姫バスにて40分

参加費：15,000円（宿泊代・食事代は含みません）

- * 学生等で指導教員からの公的援助が得られないなど、経費負担が困難な場合は免除を希望できます。下記ウェブサイト申込み時にご連絡下さい。
- * 文部科学省科学研究費補助金の研究課題に関わる若手研究者・ポスドク・大学院生等で、経費負担が困難な場合には、旅費の援助が受けられます。下記ウェブサイト申込み時にご連絡下さい。

主催：新学術領域研究・学術研究支援基盤形成・先端バイオイメージング支援プラットフォーム
兵庫県立大学 大学院生命理学研究科
ライカマイクロシステムズ(株)
理化学研究所 RSC-兵庫県立大学リーディングプログラムセンター
日本顕微鏡学会 生体解析分科会

申込み

詳細およびお申込みは下記ウェブサイトよりお願いいたします。
http://xlab.leica-microsystems.com/workshop/abis_em_002/
(ライカマイクロシステムズ(株)エクスペリエンスラボ)